

道本部建設部会が第15回総会 現場調査、自治体交渉、組織拡大を

道本部建設部会は11月17日に第15回総会を開き、1年間の活動のまとめと新年度運動方針を確認・決定しました。総会には7支部から11人が参加して、各支部のとりくみを交流するとともに、新年度の活動の重点として現場調査、自治体交渉、組織拡大などについて議論しました。

河合部会長はあいさつで「建設業が変わろうとしている。先日おこなった建設産別委員会のゼネコン要請の中で、日建連が『公契約』について議論していることが明らかにされた。背景には人手不足問題がある」と指摘しました。須貝事務局長が議案を提案し、各支部から「建退共・職業病相談会」のとりくみ、組織拡大、企業組合などの事業活動のとりくみなどの報告がされました。

総会では新年度役員として、河合雅夫部会長（函館）、土屋加奈子副部会長（十勝建設）、須貝卓矢事務局長（旭川）を再選しました。

帯広支部で10月にも1人の組合員拡大

帯広支部は道本部大会前に企業組合で働く労働者の中で7人の組合員を拡大していましたが、大会後さらに1人の新しい組合員を迎えました。支部の堀切委員長は「来年（2月か3月）の大会に向けて介護事業で働く人をふくめて2ケタの拡大をめざしたい」と話しています。

旭川支部が対市要請書を提出

旭川支部は旭労連と連名で旭川市長あての要請書を10月20日に提出しました。要請項目は①市独自の就労事業の実施、②昨年12月に制定された「公契約条例」による労働条件などの変化、③「旭川市高齢者就業機会提供団体」認定制度の運用適正化、④季節労働者通年雇用促進協議会への季節労働者の加入促進、⑤「生活困窮者自立支援法」にもとづく認定就労訓練事業所の拡大などです。市からの文書回答を受けたあと、年内に交渉を予定しています。

函館合同・月寒運輸分会に年末一時金回答

函館合同支部月寒運輸分会は11月10日に会社から年末一時金の回答を受けました。回答内容は「前年支給実績+20,000円」です。

栄光運輸支部が越冬手当・年末一時金要求提出

栄光運輸支部は11月1日に「越冬手当」と「年末一時金」の要求書を提出しました。越冬手当の要求額は「灯油1800ℓ相当額+2万円」で、年末一時金は「基本給×4.7か月分」を要求しています。また、定年退職後の雇用延長者について年金支給年齢まで退職時の賃金水準の維持なども求めました。